

# 県勢動態指標

平成28年11月報告分

## 1 気象 ～月平均気温は平年を上回り、月降水量は平年を下回る～

(高松:28年10月) 月平均気温は、20.5℃と平年(18.4℃)を2.1℃上回った。  
月降水量は、47.5mmと平年(104.2mm)を56.7mm下回った。

## 2 人口 ～自然動態は減少続く、社会動態は2か月ぶりに減少～

(香川県:28年10月1日現在 平成27年国勢調査の速報値を基に推計しています。)

推計人口 972,649人 前月に比べ495人の減少となった。

自然動態で294人の減少(出生631人、死亡925人)

社会動態で201人の減少(転入2,188人、転出2,389人)

市町別にみると、善通寺市の22人、三木町の4人の1市1町で増加、

高松市の△126人、坂出市の△63人など7市8町で減少した。

世帯数 401,155世帯 前月に比べ134世帯の減少となった。

## 3 鉱工業生産指数 ～3か月ぶりに上昇～

(香川県:28年8月) 生産指数(季節調整済指数 H22=100) 103.3 前月比で6.6%上昇した。

上昇に寄与した主な業種:はん用・生産用機械工業(貯蔵槽)、非鉄金属工業(電気金)

低下に寄与した主な業種:化学・石油石炭製品工業(医薬品)、繊維工業(ニット製靴下)

(全国:28年9月) 生産指数(季節調整済指数 H22=100) 97.8 前月比0.0%の横ばいであった。

経済産業省は基調判断を「生産は緩やかな持ち直しの動き」としている。

はん用・生産用・業務用機械工業、輸送機械工業、化学工業等が上昇し、  
情報通信機械工業、電子部品・デバイス工業、金属製品工業等が低下した。

## 4 物価 ～前年同月比は5か月連続で下落—総合—(高松市)～

消費者物価指数(総合)(H27=100)

(高松市:28年9月) 100.2 前月比0.2%上昇

上昇に寄与した主な項目:生鮮野菜、シャツ・セーター類など

下落に寄与した主な項目:教養娯楽サービス、交通など

前年同月比0.5%下落 下落に寄与した主な項目:家賃、自動車等関係費など

上昇に寄与した主な項目:教養娯楽用品、生鮮魚介など

(全国:28年9月) 99.8 前月比0.2%上昇

上昇に寄与した主な項目:シャツ・セーター・下着類、生鮮野菜など

前年同月比0.5%下落 下落に寄与した主な項目:電気代、自動車等関係費など

## 5 百貨店・スーパー販売状況 ～全店ベース、既存店ベースとも2か月連続で前年同月を下回る～

百貨店・スーパー販売額

(香川県:28年9月) 116億7,500万円と前年同月比で2.2%減少 うち既存店の状況は、前年同月比で2.9%減少  
飲食料品、身の回り品、家庭用品などで前年を下回った。

(全国:28年9月) 1兆4,705億円と前年同月比2.7%減少 うち既存店の状況は、前年同月比で3.2%減少

### ※参考

その他の主な小売業販売額(28年9月) ( )は前年同月比、全店ベース

	香川県		全国	
コンビニエンスストア	61億2,700万円	(3.0%増加)	9,552億3,500万円	(4.0%増加)
家電大型専門店	20億5,400万円	(2.6%増加)	3,119億4,900万円	(0.3%増加)
ドラッグストア	30億7,200万円	(0.4%減少)	4,523億3,500万円	(4.2%増加)
ホームセンター	18億9,600万円	(12.9%減少)	2,468億6,700万円	(4.3%減少)

## 6 労働 ～有効求人倍率 上昇～

### 有効求人倍率 28年9月 (季節調整済)

(香川県) 1.70倍 (全国第5位) (62か月連続で1倍台) (前月6位) 前月より0.08ポイント上昇  
月間有効求職者数 16,421人 月間有効求人数 27,203人 就職件数 1,701件  
正社員の有効求人倍率(原数値) 1.20倍  
(全 国) 1.38倍 前月より0.01ポイント上昇  
(徳 島) 1.34 24位 (愛 媛) 1.43 14位 (高 知) 1.10 42位 (岡 山) 1.76 3位

### 常用雇用指数 事業所規模30人以上(H22=100)

(香川県:28年8月) 102.8 前年同月比で1.3%上昇  
(全 国:28年9月) 102.1 前年同月比で1.0%上昇

### 所定外労働時間指数 事業所規模30人以上(H22=100)

(香川県:28年8月) 92.4 前年同月比で4.3%低下  
(全 国:28年9月) 103.3 前年同月比で1.6%低下

### 完全失業率

(全 国:28年9月 季節調整済) 3.0% 前月比で0.1ポイント低下  
(香川県:28年4-6月 モデル推計値) 3.0% 前年同期と同水準

## 7 倒産状況 ～件数、負債総額ともに前年同月を下回る～

(香川県:28年10月) 企業倒産(負債額1,000万円以上)

件数	2件	前年同月と比べ3件減少
負債総額	5,000万円	前年同月と比べ4億3,400万円減少

## 8 主要観光地観光客数 ～四大観光地入込み人数 3か月ぶりに前年同月を下回る～

(四大観光地:28年9月) 入込み人数は、275,488人と前年同月比で7.8%減少した。

(栗林公園)	46,568人	15.4%減少	(屋 島)	40,720人	1.3%増加
(琴 平)	100,000人	1.0%減少	(小豆島)	88,200人	14.1%減少

## 9 瀬戸大橋通行台数 ～日平均交通量 2か月ぶりに前年同月を上回る～

(28年10月) 通行台数(日平均) 21,905台 前年同月比で2.5%増加 (542台)

## 10 航空機(羽田線) ～利用者数 2か月ぶりに前年同月を上回る～

(28年10月速報)	利用者数	127,089人	前年同月比で7.7%増加	
	利用率	76.4%	前年同月と比べ8.8ポイント上昇	座席数は前年同月比4.7%減少
※参考	那覇便	利用者数	8,850人	前年同月比で3.5%増加
(28年10月速報)	利用率	56.1%	前年同月と比べ5.0ポイント上昇	座席数は前年同月比5.7%減少
	ソウル便	利用者数	4,530人	前年同月比で35.1%増加
	利用率	69.4%	前年同月と比べ7.6ポイント低下	座席数は前年同月比49.9%増加
	上海便	利用者数	5,680人	前年同月比で17.1%増加
	利用率	92.8%	前年同月と比べ17.9ポイント上昇	座席数は前年同月比5.6%減少
	台北便	利用者数	6,951人	前年同月比で28.0%増加
	利用率	76.1%	前年同月と比べ1.0ポイント上昇	座席数は前年同月比28.5%増加

## 11 交通事故発生状況 ～死者数 2か月ぶりに前年同月を上回る～

(香川県:28年10月速報) 交通(人身)事故発生件数 564件 前年同月(647件)と比べ83件の減少  
死者数 8人 前年同月(7人)と比べ1人の増加  
負傷者数 725人 前年同月(780人)と比べ55人の減少